

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・新政権になってから、総体的に、消費者は、従来よりも先行きを非常に期待しており、景気が良くなるのではないかと いうことから、良くなる。
		その他小売〔雑貨卸〕 （経営者）	・新内閣が発足し、様々に積極的な政策が打ち出される可能性 があるため、良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・政権が変わり、株価が上がり世の中のマインドが上向きで あることは、この街にはてき面に反映される。短期的なもの かも知れないが、株価が上昇しているのは非常に好材料である。
		商店街（代表者）	・やはり何ととっても、政権交代だろう。だからといって何 が良くなるのかは分からないが、労働組合を政権基盤とする 素人内閣に比べれば、政治素人の私たちにできえ、安心でき ると思えるからである。日本経済の復活を望みたいものである。
		一般小売店〔家電〕 （経理担当）	・新政権が変わって景気に対する期待感を持つ人が多いよう である。例年だと1、2月は物の動かない月だが、期待を持 ちたい。
		一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）	・来月に関しては、ある程度、大きな仕事が決まっていると いうこともあり、やや良くなると思う。ただし、それほど大 きな仕事ではないため、とてつもなく良いということではな い。まだまだ予断を許さない状態ではある。
		百貨店（営業担当）	・株価などの上昇や公共投資などの対策が打たれることによ る安心感が多少は出てくると感じる。一時的に良くなって くのではないかと。
		百貨店（管理担当）	・新政権の景気回復施策への期待のため、やや良くなる。
		百貨店（営業企画担 当）	・政権交代による景気回復への期待と、開店40周年を迎え、 企画を盛り込んでいるためである。
		スーパー（店長）	・新政権が変わったことに期待を込めて、3か月後は今より 更に景気が良くなるかと判断した。現状では、3か月先の近隣 との競合関係といった環境は変わらないが、世の中全体、政 権交代というなかで期待を込めて、やや良くなる。
		スーパー（店長）	・新総理の今後の景気回復政策がこれから始まり、2、3か 月で希望が持てる政策ができるのではないかと。客も将来に希 望が持てれば、やはり買上が進むと考えている。
		スーパー（店長）	・政権交代によって株価も上向き始めており、今後に対して の期待感も少なからずある。年度も替わるため、消費者の意 識も後押しされて良い方向に向いていくと思う。
		スーパー（営業担当）	・このところの日経平均株価の上昇並びに円安傾向が、景気 の後押しをしていくのではないかと期待感が相当高まっ てきている。
		コンビニ（エリア担 当）	・トレンドは横ばいではあるが、株価上昇、円安など少し明 るい兆しが出始めている。
		コンビニ（商品開発担 当）	・当社を含めた競合他社の年明けの動きや、今後の取り組み 計画を鑑みると、多少であるが回復してくる。
		家電量販店（統括）	・消費税増税に向けて、駆け込み特需は予測されるものの、 本質的な需要回復は見込めない。
		家電量販店（営業統 括）	・デフレの流れに飲み込まれ、全ての商品価格が低下する傾 向が続いてきたが、消費者も価格のみに着目したバーゲンハ ンター的な商品から、それぞれの価値観に見合う商品であれ ば、価格だけに捕らわれない価値観消費の胎動を感じる。
		乗用車販売店（経営 者）	・新内閣の景気対策に期待をしている人たちが多く、このま まの調子がしばらく続くと思う。
		乗用車販売店（販売担 当）	・新政権が発足し、今後の景気浮揚策を積極的にやるという ことと、今から2、3か月先は、各企業、年度決算が行われ るため、景気的にはやや良くなると思う。ただし、全体的な 流れのなかでは、本当に安定して成長できるかどうか。これ については、今後の政権運営に期待している。また、それを やることによって景気が浮上することを大いに望んでいる。
		乗用車販売店（店長）	・株価の上昇や日銀の動き、また外交面での期待感、そう いったものを加味して、やや良くなる。
		乗用車販売店（総務担 当）	・全体的に、景気回復感がうかがえる。政権交代によって、 今度こそ安定した経済環境ができると思う。エコカー補助金 制度がなくなったため、企業内で捻出した施策等で、来客数 並びに販売量の増加を図っていかなければならない。
		住関連専門店（統括）	・政権も変わったため、今後、景気対策が若干進み、多少景 気も良くなるのではないかと。
その他専門店〔ドラッ グストア〕（経営者）	・全社にて業務のてこ入れを行っているため、その成果を見 込んでいる。		

一般レストラン（経営者）	・このままの状態で行ったら倒産する。政権も変わり、株価も上がり、円安になり、景気回復の条件は揃った。本当に景気が良くなってほしい。
一般レストラン（経営者）	・政権が変わり、金融緩和などで景気、株価も少し上がり、景気を国民全体で上向きにしようという気配が感じられ、期待を込めて多少は良くなると思っている。しかし、当店のような飲食店にまで影響が及ぶには時間がかかるため、期待を込めての話である。
一般レストラン（スタッフ）	・やや良くなるというのは希望的観測である。政治も落ち着いたら、少しは良くなるのではないかと思う。あまり、悪い悪いと暗く言っているのも嫌なので、良くなってほしい。
都市型ホテル（スタッフ）	・政権が変わり、それによる活性化が少し出てきている感じがする。
旅行代理店（従業員）	・総選挙後、2、3月の国内旅行の予約が活発化してきている。特に沖縄、九州方面への動きが好調である。
旅行代理店（従業員）	・前年同期比115%の販売予測が立っているためである。
タクシー運転手	・ますます先が見えず、コメントのしようがない。新政権になり、良くなることを期待したい。
タクシー運転手	・政権が変わり、円安、株高で、非常に良い循環期に入ってきた気がする。少しでも良くなるよう、大いに期待したい。
タクシー運転手	・中国、韓国、日本は、互いに国のかじ取りが変わって、けん制はしているものの、良い関係を築こうとの思惑がみられる。また、経済も良い方向で推移しそうである。景気は良くなると思う。
通信会社（経営者）	・新商品や新型スマートフォンをきっかけとして、テレビ、インターネット、電話の販売が堅調になる。
通信会社（経営者）	・政権が変わり、景気対策に力を入れるという期待感が、財布のひもを緩ませるだろう。
通信会社（社員）	・希望的観測だが、政権交代の影響が少しは出るのではないかと感じている。
通信会社（営業担当）	・政権が変わり、景気対策を行うことで景気が良くなると期待している顧客が多いためである。
通信会社（営業担当）	・興味があるもの、良いと思うサービスについては、若干であれば費用負担をいとわない傾向は強くなると思う。
ゴルフ場（支配人）	・1、2月は閑散期であるが料金が割引となるため、多少、来場者の増加が見込まれる。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (店長)	・来客数が上がらない状況にあるものの、客単価が上昇してきており、消費が増加している傾向がうかがえる。
その他レジャー施設 (経営企画担当)	・政権交代による政策効果の期待のため、やや良くなる。
その他サービス [保険 代理店] (経営者)	・とりあえず地に足を着いた新政権への安ど感がある。顧客の様子にも、今後に向けた期待が感じられる。
設計事務所（経営者）	・前年までは、景気が悪いため、民間に今、話を持っていても決まらないのではないかという不安感があった。しかし、政治の新しい方向性が打ち出され、公共事業が増える世勢のなかでは、民間事業も、私たちのPRもしくは技術的なフォローによって、多少増えるのではないかと思う。公共事業は、3月までは年度末で今残っている仕事が大変忙しいが、4、5月に向かって新しい仕事にチャレンジすべく、準備や年度末の仕事を上げていくということが大事だと思う。
設計事務所（所長）	・厳しい状況が長い間続いているが、新政権になり、好転を期待をしている。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の絡みが少しずつ出てきているように思う。来場者数が12月の割には多い。
住宅販売会社（従業員）	・政権交代があり、総選挙後から客の反響も増え、今後の景気に良いほうに影響してくるのではと感じている。仕入から決済までの期間を短縮し、適正価格で販売すれば良くなると思う。
住宅販売会社（従業員）	・先月は景気が良く、客に動きが出てきたと思う。12、1月は年末年始の休みがあるため、販売量は落ち込むと思う。実際に12月の販売量は落ち込んでいる。ただし、2、3か月先を考えると、現在検討中の客も販売に結びつき、結果が出てきそうである。
住宅販売会社（従業員）	・政権交代への期待感がある。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税で駆け込み需要が期待されるため、上向く可能性はある。
変わらない	商店街（代表者） ・円安と株価の上昇で多少希望が持てると思うが、まだまだ政治もこれからという時期で先行き不透明なため、そう変わらないのではないかと。

商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新政権に変わり、株価が1万円を超えたということ、また、為替が86円台になったことで、今までのムードからすれば、大分良い傾向になってきていると思う。しかし、恩恵を受けるのはやはり一部上場企業で、我々、中小零細企業がそれを実感できるのは来年の後半か再来年ぐらいになるのではないかと。
商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新政権の政策を聞いてみると、これから景気がかなり上向くのではないかと感じるを持っているようなので、何とか頑張ってやってもらいたい。今のままでは、どんどん悪くなるため、それを何とか良い方向に持って行ってもらいたい。
一般小売店〔和菓子〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・政権が変わって、景気が上向きになる期待感はあるが、個人商店に影響してくるのは、まだまだ先だと思う。
一般小売店〔家電〕（経理担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・以前と比べて、徐々に悪くなっているというよりは、売上が悪い状態のまま推移している。ただし、LED照明は少しずつ売れてきているため期待している。
一般小売店〔祭用品〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・街の状況を見て、良くなるとは思えない。
一般小売店〔家具〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新政権が変わって良くなりそうな気はあるが、それほど期待できないと思う。今と同じような形で変わらない気がする。
一般小売店〔靴・履物〕（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・今、金融緩和など様々なことを政府が行っているが、増税を控えており、また、物価もこれから上がるという。それでいて所得は、良い人は良いのだろうが、一般の人は増えるような状況は見られない。しばらくこのような状態が続き、もしかすると増税だけということになり、悪くなってしまうのではないかと、客の様子などを見ていると非常に心配である。
一般小売店〔茶〕（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・個人購入は、良いお茶が飲みたいという傾向が出ているが、企業やオフィスでは、安い商品への切り替えがまだに進んでおり、結果的に売上はあまり変化が期待できない。個人消費者が高級志向に転じて、やはり企業単位で高級志向への切り替えがないと、嗜好飲料での景気回復はまだまだ先な気がする。
百貨店（売場主任）	<ul style="list-style-type: none"> ・今月中旬ごろから、1月クリアランス待ちの声が聞かれ、価格への関心は当分続きそうである。
百貨店（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・株価が上昇しており良い傾向ではあるが、短期的に改善するとは思えない。長期的には改善傾向に動くと思う。
百貨店（総務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・このままでは更に悪化すると思うが、政権交代による効果で、辛うじて横ばいか。
百貨店（広報担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、次期政権への期待感があるものの、国内の来年度予算や政策の見直し、また、海外ではアメリカの財政の崖問題などを控え、先行きは不透明である。客も数か月後の景気となると、まだまだ判断しかねており、また、2月以降に本決算となる中小企業も多く、消費は様子見となり、結局、しばらく景気に変化はない。
百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・上旬は総選挙の影響もあり、衣料、身の回り品、高級雑貨等、幅広く低調となったが、中旬以降は気温が例年以上に低下したため、防寒衣料を中心に動きが良くなっている。ただ、政権交代による経済対策はまだ見えておらず、様子見による買い控えもある。
百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・新政権が発足し、株価上昇、円安にはなっているが、電力業界を始めとする来夏のボーナス支給中止や大幅減額等の発表があり、依然、顧客心理としては支出を抑えると思う。今後の政府による景気てこ入れ策が具体的になるまでは変わらない。
百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の総選挙により、新政府への期待感から経済全般について快方の兆しが見られるが、一般消費者に対する影響は先の話である。インフレターゲットに伴い、賃金の上昇があれば良いが、物価の上昇では更に景気が冷え込む可能性が高いと思う。しばらくの間は、経済政策及び消費動向については注視していく必要がある。
百貨店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・政権交代による効果は、すぐには出ないためである。
百貨店（副店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・円安、株高効果から心理的な好影響はあるもの、波及効果や実感到達にはタイムラグもあるため、変わらない。
スーパー（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・競争が激しいため、なかなか良くなるころまではいっていない。しかし、新政権に変わり、多少世間的にも明るさが出てきた気配があるため、競争がなければ良くなるのではないかと。とにかく競争店の影響を最小限に食い止めることで精一杯である。

スーパー（店員）	・現在の景気動向も含めると、単価等は変わらず、来客数増で売上アップになってる。要因としては、店の仕掛け等がメインとなるため、継続するかしないかによって、今後の売上利益等が変化してくると思う。
スーパー（総務担当）	・政権が変わり、経済に対して大変期待感が高まったと思うが、小売業については、お金が回ってくるのは最後であるため、大きく上向きになるのはまだまだ先のことである。現状の客の動きをみても、頻度性の高い物は、全店的な割引企画の時に集中して買われており、平常時の客数、買上単価、点数等がまだまだ伸び悩んでいる。厳しい状況は変わらない。
スーパー（仕入担当）	・品質が良く価格が高い物よりも、品質はそこそこで価格が安い物が支持されている。1品単価の下落は今後も続く。
スーパー（仕入担当）	・政権交代による景気回復の期待感が高まり、多少、消費自体は回復してきているようである。
コンビニ（経営者）	・続けざまに行っている値引きセールも、若干色あせ、販売に結び付かない状況が続くと思う。これから一気に改善に向かうとは考えにくい状況である。
コンビニ（経営者）	・近隣にコンビニの出店計画があり、厳しい状況は変わらない。
コンビニ（経営者）	・新政権にあまり期待できないためである。
コンビニ（商品開発担当）	・来客数の動きや販売数の動きが上向き好材料もなく、依然として厳しい状況が続く。
衣料品専門店（経営者）	・長引く不況からの脱却は、政権が変わっても早急に良くなることはないと思う。
衣料品専門店（経営者）	・総理の発言に対して大変期待してはいるが、末端まで動き出すにはしばらく掛かるため、秋ごろまでは現状とあまり変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・暖冬予測が厳冬予測に変わり、売れ筋商品の欠品がかなり始まっている。1月の売筋商品の手配が厳しいように感じる。
衣料品専門店（経営者）	・変わらないと回答したが、分からないというのが正直なところである。新政権になって、円安、株高に動いており、一流企業はそれで良いのかもしれない。しかし、末端の実体経済がどうなるかは、今のところ分からない。本当に良くなっていけば有難いと思っている。
衣料品専門店（店長）	・天候に左右されやすい時期だが、現状は来客数や単価も昨年と同じ程度で推移しているため、この数か月は大きな変動はない。
衣料品専門店（店長）	・今の商況とそれほど大きく変わると考えられないためである。
衣料品専門店（営業担当）	・バーゲンの効果も一服して、売上も変わらない状態が続く。
乗用車販売店（経営者）	・整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。来年度の後半に、消費税増税による駆け込み需要が多くなると思うが、2、3か月先はまだあまり芳しくない。
乗用車販売店（販売担当）	・今月は稼働日数の少ないなかでも、新車販売に関してはさほど落込みも少なく、また客の様子からも購買意欲が出てきているため、変わらない。
乗用車販売店（営業担当）	・今回の総選挙でいろいろと変わってはいるが、やはりマスコミ等が言うように、客からは期待をしていないという話が出ている。そのため、現状と変わらない。
住関連専門店（店長）	・政権が変わっても、すぐには変化は表れない。
その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	・政権政党の入れ替りにより、株高となっているものの、今後の様々な新政策が効果を発揮するかどうか不透明で、その反動もあることが考えられるためである。
その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	消費マインドが、増税イコール負担増となり、購買意欲が低下傾向になるのではないかと。
高級レストラン（店長）	・今回の政権交代による変化に期待したい。
高級レストラン（支配人）	・ここ数か月の傾向として、宴会の件数はほぼ前年並みにもかわらず、1件当たりの人数と単価が下降したままである。この先、数か月はこの状態が続く。
一般レストラン（経営者）	・政権交代による好況感、外食に掛ける予算まで及んでいない。
一般レストラン（経営者）	・政権交代しても、まだまだ期待の裏返して景気に反映されるとは皆が思っていないような気がする。客も、とりあえず旧政権ではなくなったということで少し安ど感があるような感じがするが、それほど変わるような気がしない。

一般レストラン (店長)	・とにかくひど過ぎる。1、2月はまたかなり暇になる時である。そのため2、3か月先は、変わらないというより、変わらないでほしい。むしろもっと悪くなったら大変なことになるということである。	
旅行代理店 (支店長)	・2、3か月後は、冬場の真っ盛りで旅行業にとっては厳しい時期になるが、当社では、やはりスカイツリーという武器がまだ健在しているため、そちらを中心に販売できるチャンネルがある。ただ、法人の問い合わせは少なくなっているのが現状であるため、その点を勘案すると変わらない。	
タクシー運転手	・今は年末のため、やや動きはあるものの、やはり不安材料が多く、少し様子を見ている段階である。	
タクシー (団体役員)	・新政権になって、景気、雇用対策次第かと思うが、2、3か月後、すぐに個人消費が上がるとは思えず、しばらくは変わらない。	
通信会社 (経営者)	・競合他社が値下げしたため、価格競争に巻き込まれそうである。	
通信会社 (営業担当)	・新政権の景気対策への期待から、株価は上昇傾向ではあるが、具体策が提示されてからの動きについてなお不透明であり、期待が失望に変わらないとも限らない。	
通信会社 (局長)	・高齢者世帯がお金を使わない限り、景気は大きく変わらない。60代以上が自ら考え、本当に良いものに投資しない限り、変わらない。	
通信会社 (局長)	・政権交代して、当初は株価へのプラスの影響が期待できるものの、それが末端での購買意欲の活性につながるには、まだ当面は様子見であると思う。	
通信会社 (営業担当)	・競合他社が大幅な値引きを行っており、比較的低調に推移していたインターネットの解約数も、今後増加していきそうである。	
ゴルフ場 (従業員)	・政権が交代し、公共工事の発注がこれから増えるのではないかと。だからといって、冷え切った経済状況はすぐに良くなることはないと思う。しかし、これまで悪くなると回答していたが、今回は変わらないにランクを上げた。	
パチンコ店 (経営者)	・株価が上がってきているが、同時に先々のことを見据えると消費税も上がる。そのため、変わらない。	
その他レジャー施設 [スポーツ施設] (支配人)	・新たな景気対策に期待したいが、即効性は疑問である。	
美容室 (経営者)	・政権が変わって良くなることを期待している。	
その他サービス [学習塾] (経営者)	・内閣も変わり、景気対策がどこまで浸透してくるかによると思うが、まだ末端の財布まで暖かくなっていない。生徒の減少傾向には歯止めが掛からず、塾単価も下がったままであるため、先行きは変わらない。	
その他サービス [立体駐車場] (経営者)	・大都市は良くなるかもしれないが、客の様子や近隣の商店の話では、景気が良くなる感じがしない。	
その他サービス [福祉輸送] (経営者)	・新政権の発足と同時にさらなる金融緩和の動きが出ており、株価等は月末に向けて少し上がっているが、一般の人たちの所得の増加につながる動きは、あまり見られないため、変わらない。	
設計事務所 (所長)	・上棟、引き渡しと続き、多少経理上は良くなるが、実際の次へのステップに見当がつかず不安は多い。	
設計事務所 (職員)	・新政権による経済対策の効果期待したいが、数か月単位で実効性のある対策は難しいのではないかと。逆に、突発的な変化程度では、景気が良くなるとまでは言えない。	
やや悪くなる	商店街 (代表者)	・数か月では、政党が変わっても良くならない。6か月から1年くらい掛かるのではないかと。
一般小売店 [茶] (経営者)	・12月は寒波で冷え込んだため、お茶は店頭での接客販売、仏事の返礼用等で売れてきているが、売上がまだ前年同月までの状況である。	
百貨店 (販売管理担当)	・株価が上昇傾向にあり、富裕層の購買動向に期待が持てるものの、一般顧客の購買動向は、販売数量は増加傾向にあるが、客単価の下落をカバーできない。今後も、価格に、より一層敏感になることが想定される。	
コンビニ (経営者)	・競合店が近くに出るような心配がある。	
コンビニ (経営者)	・年末商戦に関しては、例年よりも、更に年末らしさ、正月らしさがなくなってきており、年賀はがきの売上等も大分落ちてきている。やはり、携帯電話やスマートフォンの普及などによる生活の変化がいろいろ表れてきているのだと思う。また、通信販売等、若干、ライバルが台頭しており、無店舗経営で利益を削り安い物を提供する、そのようなところに客が流れているようである。	
コンビニ (経営者)	・強力な経済政策を打ち出しているが、それが浸透するにはまだ時間が掛かる。しばらく一般の消費景気は低迷する。	

		コンビニ（経営者）	・政府に期待する。
		衣料品専門店（経営者）	・特に大きく売れる商材の気配はなく、寒さが厳しいと客の動きが心配である。近郊の大型商圈に客を取られ、当店の販売促進にも限度がある。
		衣料品専門店（営業担当）	・以前の政権に戻り、野党であった時に、皆勉強していたのかという感じである。選挙のためだけに動いて、景気が良くなるとは全く思わない。
		家電量販店（店員）	・今後、量販店において過激な値下げを止めつつ、特に通信販売での適正売価を再度見直していけば、右肩下がり止まり、徐々に景気回復へとつながる。
		乗用車販売店（渉外担当）	・エコカー補助金が終了する3か月前から個人消費は鈍く、販売車種も低価格のハイブリッドカーが主流である。新型車が発売になるため、今後期待したいが楽観視はできない。
		その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・例年通りに、年明けは当面上向く要素もなく縮小する。
		一般レストラン（経営者）	・12月が良いので、どうしても2、3か月先は下がる。また、2か月先の2月は、1年で一番悪い月であるため、売上はかなり下がり、景気は悪い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・1月以降は閑散期となるが、例年に比べてホテル全体の受注が悪く、特にインセンティブ関連の予約は以前に比べて皆無の状況である。動きも直前のものが多く、予想が立てにくくなっている。相変わらず、先行き不透明な状態が続いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会は、企業の販売促進目的のパーティー等の利用が前年より減少して、厳しい状況である。婚礼は、細かいことでいろいろと手当てをして、件数、客数共に前年より若干オーバーしており、提案によっては単価もアップしているが、法人の宴会利用をカバーするまでには至らない。レストランもランチタイムの集客は、女性を中心にこのまま進むと思われ、予約はこれから入ると思うが、夜の少人数の接待利用が、どの程度回復するのか不透明で売上が伸びない要因の1つと考えている。宿泊は、周辺施設でのイベントが前年とほぼ同じ件数開催されるとの情報から、前年並みの集客を期待している。
		観光名所（職員）	・2、3か月後は2、3月で、観光地としては寒くなり、客が一番減る時期でもあり、悪くなる。
		その他レジャー施設〔ボウリング場〕（支配人）	・レジャーへの出費を抑える傾向が続いている。
		設計事務所（所長）	・仕事の絶対量がないと同時に、社会全体にも不況を克服というのが現状だと思う。日本は物作りの社会である。もう一度、国で着目し、海外ばかりに進出せず、国内向けにもどんどんと財政等投入したら良いと思っている。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅に掛かる消費税額がそもそも高額であるため、消費税増税が駆け込み需要に直結するかは分からない。
	悪くなる	一般小売店〔文具具〕（経営者）	・今月の状況を見てみると、来月も芳しくないのではないかと。特に、今年は寒さが厳しいため人通りが少なく、また、当地域の開発等により当店の周りが工事現場であるため、やはりそういったこともあるのではないかと。良くなるとはあまり考えられない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・政権が移り、景気回復を強く訴えている人がいるが、末端まで景気回復するには1、2年ではできないと思う。非常に厳しいこの経済や流通を立て直すということは、非常に難しいと思う。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・競合店がオープンして1年経ったが、依然影響が大きい。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・1～3月は1年で最も暇だからである。
		美容室（経営者）	・世の中が不景気なせいか、だんだん鈍っているような気がする。
		住宅販売会社（経営者）	・景気対策を重点に置いた政権が、政策を実行して、早くデフレから脱却し、景気を良くすれば自然と税収が増えるため、すべてうまくいくと思う。今のままではとても景気が回復する見通しは立たない。総裁に期待しているが、具体的な政策がまだ見えてこない。
企業 動向 関連 (南関東)	良くなる	○	○
	やや良くなる	食料品製造業（経営者）	・新政権になり、期待感で購買意欲が出てくると思う。
		金属製品製造業（経営者）	・円安と政府の経済対策に期待している。明るさが出てきている。

金属製品製造業（経営者）	・政権交代への期待もあるが、円高が少しずつ是正されているため、製造業にとっては少し明るいニュースである。円高是正が続けば、少しは良くなるのではないかと。	
電気機械器具製造業（経営者）	・希望的観測だが、当社では新商品の開発を完了し、これから売れ始めるとしており、また、売れないと困る。多少その兆しが見えてきている。	
電気機械器具製造業（経営者）	・新政権に変わり、政策的に積極的なインフレを醸し出すような対策を本当に打てるのかどうか。それで実績が出るかによるため、期待している。	
その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・年末の円安の進行が年明け後も続くのであれば、期待できるのではないかと。	
建設業（経営者）	・為替や株価に明るい兆しが出てきており、設備投資に動きが出るのではないかと。新年に期待する。	
建設業（営業担当）	・年末の企業訪問での話題で、政権が変わり与党党首が公言している公共投資に期待を掛けている企業が多く見られる。株価も1万円台を保持しており、今後、景気は上昇すると思う。	
建設業（経理担当）	・総選挙で景気回復を旗印にした党が勝利したため、早くもそれをにらんで数字が上向きに動いているようである。予算も確保されると思うので、景気も上向きに向かうと思う。	
通信業（広報担当）	・このまま超円高の修正が続けば、やや良くなる。	
金融業（統括）	・株価が上がると、更に円安が進んでおり、製造業等にはメリットが大きい。	
金融業（役員）	・政権が変わったことにより、建設業や輸出関連企業が動き出すのではないかと意見が多い。	
金融業（渉外・預金担当）	・株価の回復と政権交代により、経済が安定し、景気も回復するだろうとの希望的観測の声が強くなっている。	
金融業（支店長）	・個人投資家はしばらく投資意欲がおう盛であろう。ただし、行き過ぎている感があるため、近いうちに踊り場を迎えるであろう。	
広告代理店（営業担当）	・政権交代、日経平均株価の上昇など、少し変わるという期待がある。	
税理士	・円が安くなり、株価が上がるのは大歓迎である。このまま景気が回復することを誰もが願い、また実感したい。	
経営コンサルタント	・政権交代の期待感のため、やや良くなる。	
税理士	・新政権になり、アメリカでの車の販売等、中国への輸出等、アメリカは少し悪いがアジアは堅調である。もうひとつは日本の政治で、新政権になり危機突破内閣と言っているが、経済対策を打ち、変わってほしいと思っており、また、少しは変わるのではないかと。	
変わらない	食料品製造業（経営者）	・良い傾向と非常に不安定で読めない部分が混在しているため、先のことは非常に読みにくい。
繊維工業（従業員）	・注文がないこの厳しい現状は変わらない。	
出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・12月は上場企業からのゴム印の特需はあったが、1企業だけであり、ほかの会社からは多くの注文が出るという景気の良い話が多い。それがもう少し出てきたら上向きと答えたいが、現状どちらとも言えず、変わらない。	
化学工業（従業員）	・東日本大震災の復興需要はほとんどなく、年を越してもいつごろ影響が出るのかも不明瞭で、当てにはできない。	
プラスチック製品製造業（経営者）	・新製品の立ち上げ等、顧客の投資への意欲は依然鈍いが、底打ち感はある。	
金属製品製造業（経営者）	・政治が安定するまでは、しばらくこの状態が続くと思う。新政権の政策次第では、今年度は無理でも来年に期待が持てる。	
一般機械器具製造業（経営者）	・今後2か月の生産計画の内示は、全く良くなっていない。計画的に考えると、劇的な改善はあり得ず、悪い。	
精密機械器具製造業（経営者）	・株価上昇や円安基調になっているが、実態経済は70兆円に対し20倍のお金がグローバルで駆け巡っているため、本質的な景気ではない。今回の総選挙でデフレ脱却2%と公約しているが、インフレになれば2%ではとどまらないと考える。	
輸送用機械器具製造業（経営者）	・当社はトラック関連の製造業だが、正月を挟んだ寒い時期は昔からあまり良くない。変わらないとしたのは、ここ2、3か月のことで、桜の咲く頃になれば、また少し上向きになると思う。内閣も変わり、円安になり、出足好調でいきたいところである。今までの与党は何もやらなかったから仕様がな。新政権に期待する。また頑張ろうと思う。	
その他製造業〔靴〕（経営者）	・今の状況は、特別、上がるとも下がるとも情報が一切入っていないため、今の状況がしばらく続くと思う。	
輸送業（経営者）	・新政権の発足に伴って、いろいろと景気浮揚の政策が打ち出されてくると思う。現状ではまだはっきりしていないが、いずれにしても現状よりは良くなるのではないかと期待感を持っている。	

	輸送業（経営者）	・2～3か月先は新学期を控えて、多少の取扱量の増加は見込まれるが、今月燃料価格が1リットル当たり3円という大幅な値上げがあったため、経費の増加がプラス要因を消滅してしまうのではないかと大変危惧している。	
	輸送業（経営者）	・やや良くなるという答えを出したいが、そのような気配が全くない。政治が変わったからといってどうなるか、結果を見ないと分からない。	
	輸送業（総務担当）	・得意先の出荷計画は増える見込みとなっているが、生産量は低調であるため、新年から年度末にかけても、出荷量の増加は見込めない。そのため低調な状態が続く。	
	金融業（従業員）	・中小企業の持ち直しの動きは弱まっており、先行きについて悲観的な声が聞かれる。建設業で業況悪化を予想する声が増えているのが気になる場所である。	
	不動産業（経営者）	・新年度の景気回復を願う。	
	不動産業（総務担当）	・2013年は、オフィスの新規供給も一段落とのことで、空室率、賃料の改善に若干の期待感が持てる。	
	広告代理店（従業員）	・受注状況や受注見込みが、前年同期と同じ程度に推移している。	
	社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない。	
	経営コンサルタント	・小規模事業者の財務基盤の傷みが非常に大きい。新政権に変わっても、傷み具合を修復するには、かなりの時間を要する。実質数値はともかく、感覚的に期待感が出てくるまでには、かなりの時間が掛かる。株価の反応のようにはいかない。	
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・先行きの不透明感が強く、取引先工場の稼働率の回復見込みがない。そのため、受注量も厳しい状況が続くと思う。	
	その他サービス業〔警備〕（経営者）	・年末年始で、売上増はあまり期待できない。	
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・街頭全体では改善の方向に向かうと思うが、広告、映像業界では、まだそれほど変化はみられない。	
	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・政治への不安と少子高齢化のため、変わらない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・スマートフォン利用者数の増加に伴い、インターネットはスマートフォンで用が足りるとするユーザーが増えてきており、自宅への光回線開通数が低迷してきている。この傾向はしばらく継続する。	
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ここ3か月は、定期受注物が安定して入稿してきたため、順調に売上が上がっている。ただし、これも時期的な要因のため恒常的に継続するものではなく、また、新規の受注が今のところ予定に組み込まれていないためである。	
	出版・印刷・同関連産業（所長）	・年度末に向け、次年度予算の見積り合いが多くなっているため、現状より若干良い方向へ推移している。	
	出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・年度末の発注が増える時期になるが、利益の確保を考えると受注量が減る。	
	建設業（経営者）	・消費税増税の駆け込み需要で、一瞬、良くなる気配はあるが、その後の冷え込みが分かっている。2度の冷え込みは正直厳しい。	
	金融業（支店長）	・全般的に今後の受注の見通しが立っていないことや、電力などの経費が膨らんでいること、また、利幅が少なくなっていることを鑑みると、まだまだ不況感が続くと思う。	
	広告代理店（経営者）	・新年絡みの広告も低調傾向になり、予備予算の吐き出しも望めない。経済政策も期待できないどころか、借金を増やす政策だと思っているため、3か月後は薄暗い程度で済むだろうが、3年後は、暗いどころか怖いとさえ感じている。土木建築業に金が回って、それがそのまま貯蓄されて終わる。買いたいものがないうえに、人口減少でインフラ退縮局面に、稼働率が低いインフラを作って、維持コストを増やしてどうするのかと言いたい。	
	経営コンサルタント	・政権が交代したが、結果が出るのはまだ先で、今までのしこりが大きく響き、まだまだ低下傾向が続くようである。	
悪くなる	通信業（経営者）	・政権交代での政策が、景気回復につながるか疑問である。	
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・大口の元請会社が、収益を上げるという理由で、外注していた物件を内製化する。その影響で2、3月に大幅な解約が発生する。	
雇用関連 (南関東)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年明けの新しい動きで、今20社あまり募集の話があり、それが全部入れれば相当の盛り上がりがある。いつも1～3月は募集が出る月であるため期待しており、頑張っていこうと思う。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・政権交代による影響と年度末ということもあり、若干ではあるが受注が持ち直しそうである。
		人材派遣会社（支店長）	・政権が変わり、期待感がある。

	人材派遣会社（営業担当）	・具体的な好材料があるわけではないが、政権が変わったことによる景気の好転に期待したい。
	人材派遣会社（営業担当）	・離職者が減り、雇用が維持、拡大すれば、消費も増え、景気回復につながるのではないかと想定している。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・若干ではあるが、求人募集広告を出す企業が増えているようである。
	職業安定所（職員）	・求人は増えている。一部、電気関係でリストラなども出ているが、公共事業が増えれば、当然、付随して郵送、製造等、様々な製造関係が増える。少しでも良くなるのではないかと期待感で、やや良くなる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・政治が動き出し、経済や雇用に期待感がある。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・新政権に変わり、様々な景気浮揚策が2か月くらいですぐ効果が出るということは期待できず、春以降だろうという意見が多い。
	人材派遣会社（支店長）	・新政権次第だが、景気対策により求人ニーズが良くも悪くも影響を受けると思う。現段階では良くなるのか悪くなるのか見通しがつかない。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・採用計画を見直そうとする企業はまだみられない。採用数自体は前年より少しプラスで推移しそうだが、採用費の増加につながっていない。現状、各企業人事は効率的な活動、手法の工夫で乗り切ろうとしている。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・政権が変わって景気の浮上が叫ばれているが、現状では先が全く見えない。春先、年度替わりで、一部に動きが出る時期ではあるが、全体としては変わらないのではないかと。
	求人情報誌製作会社（広報担当）	・新政権になったため、消費税が上がる可能性が高い。あまり良くなる感じはしない。
	職業安定所（所長）	・新規求職者は前年同期で減少基調で推移しているが、一方、新規求人の伸びは鈍化している。また、中国をはじめとした国際情勢は景気のマイナス因子であるが、新政権による公共投資等の新施策による一時的な景気回復効果も見込まれる。これらの状況から、大きな変動はないと思う。
	職業安定所（職員）	・採用について、経済動向の様子見している中小零細企業は多い。
	職業安定所（職員）	・求人数は増加しているが、やはり正社員の求人の増加が見込まれず、現在、出ている求人はパートや契約社員等、非正規雇用の求人が増加していることから変わらない。
	職業安定所（職員）	・採用者数が減ってきている状況が続いており、変化がない。
	民間職業紹介機関（経営者）	・国内拠点の見直しなどが進められているが、これは海外拠点の多様化を考慮したうえでのことである。国内需要の回復には、諸税の見直しなどによる企業の国内投資への意欲や、先に見える生活実態が感じられれば、需要が喚起され、求人の増加につながると思うが、現時点では先が見えない。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・次年度の合同企業説明会の案内が届き始めたが、参加企業が少ない感じがする。まだ景気回復の兆しは見込めず、採用を控えている企業が多いと思う。
	学校〔専修学校〕（就職担当）	・年度末に向けての新規求人、採用人数増加、継続求人公開等の確認を行っているが、前年度から大きく増加する予定は見られない。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・労働者派遣法の改正に伴い、派遣先からは利用しにくくなったとの声も聞こえてくる。そのため、派遣での利用は減少する可能性が高い。
	職業安定所（職員）	・前月に引き続き、管内派遣会社が年末に多数の雇止めとオフィス閉鎖を予定しており、更に求職者の増加が見込まれる。
	民間職業紹介機関（職員）	・政権が変わり、政策の影響を受ける可能性もあるが、求人数が落ちてきており、企業側の採用意欲に陰りが見えてきているためである。
悪くなる	—	—